

平成 29 年度活動助成 活動実績報告書

|       |                            |
|-------|----------------------------|
| 団体名   | アジア子ども基金                   |
| 活動テーマ | みんな一緒に勉強するっちゃ！ 石巻子ども学習サポート |



学校のお話しをしながら一緒に勉強中です



ハロウィンの衣装は、関西の篤志家からのプレゼント。



わかるまで、一緒にやろうね。優しく教えてくださいます



色んな大人が子どもたちと関わっています

石巻市渡波地区に 2013 年 10 月「子ども未来図書館」を開設いたしました。この地区は、小・中・高校の 4 校、すべてが被災しました。うち 3 校は津波で完全に消失してしまいました。唯一残った小学校は 2014 年 4 月に修復工事が終わり、元気な子どもたちが戻ってきました。

「復興は待っていてもだめだ！自分たちの手でやらないと！」という地元のお母さんに共鳴し、小学校の隣に、子ども図書館を設立しました。津波で流出した中学校も、昨年 4 月にやっと近くに再建され、以前にも増して子どもたちの声が響く街になっています。

親、兄弟のいなくなった子どもたちや帰宅の遅い家族に代わり、図書館は、放課後に子どもたちが、通って来る居場所になっています。そこで地域の皆さんと一緒に、週 2 回の学習サポートを行っています。学習サポートには、仮設住宅や近隣の復興住宅に住む子どもたち、不登校や学習障がいの子もたちと様々な事情を抱えた子どもたちが通っています。図書館では、みんな一緒に混ざって他学年の子どもたちと交流し、一緒に遊んだり、時には勉強を教え合ったりしています。年齢にバリエーションがあることで、子どもたちに人としての幅ができ、かえってお互いの居心地をよくしています。

JR 西日本の皆様の助成のおかげで、子どもたちは、小学生が中学生に、中学生が高校生に、そして大学生・社会人へと成長しています。津波で台無しにされた場所では、子どもたちの居場所は、憩うことのできる家庭と同じくらい大切ですが、さりとて急速に発展するものではありません。細くても長く継続することが地域や子どもたちにとって大切で必要なことなのだ実感しています。

この度、これまでの活動の軌跡を冊子にまとめあげました。